

# 令和2年度鳥取市総合教育会議（第3回）会議録

**1 日 時** 令和3年2月2日（火） 13時30分 から

**2 場 所** 鳥取市役所本庁舎 7階 第2委員会室

**3 出席者** [構成員]

市長：深澤 義彦

教育長：尾室 高志

教育長職務代理者：藤井 喜臣

教育委員：山脇 彰子

教育委員：前田 哲雄

[市長部局]

副市長：羽場 恭一

総務部長：浅井 俊彦

[教育委員会事務局]

教育委員会副教育長：吉田 博幸

教育委員会次長兼教育総務課長：中村 隆弘

教育委員会次長兼学校教育課長：岸本 吉弘

教育委員会文化財課長：佐々木 敏彦

教育委員会生涯学習・スポーツ課長：中原 登

教育委員会学校保健給食課長：山根 ちはる

教育委員会中央図書館長：長本 次郎

教育委員会教育センター所長：東田 重高

教育委員会さじアストロパーク所長：山西 正博

教育委員会学校教育課参事：須崎 ひとみ

教育委員会教育総務課長補佐：入江 卓司

[傍聴者] 2名

## 4 会議次第

次期鳥取市の教育等の振興に関する大綱、鳥取市教育振興基本計画（案）について

## 5 会議概要

1 開 会 13時30分

開会（教育委員会副教育長）

## 2 市長あいさつ

本日は大変お忙しい中、今年度第3回となります、鳥取市総合教育会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。教育委員の皆さまにおかれましては、日頃より本市の教育の推進につきまして、格別なるご理解、お力添えを賜っておりますことに、改めまして、心より感謝申し上げる次第でございます。

ご案内のように、現在、新型コロナウイルス感染症の収束がなかなか見通せないような状況が続いております。本市におきましても、一昨日1件、昨日3件の陽性が発生しているところであります。これにつきましては、濃厚接触者、接触者を行動歴から特定いたしまして、検査を受けていただくように進めているところであります。

今のところ、まだまだ感染が拡大して抑えきれないという状況にはなっていないと考えておりますので、こういった状況を、ワクチン接種までなんとか持ちこたえていかなければいけないと、今、保健所の健康子ども部を中心に頑張っているところであります。

さて、本会議は8月18日と11月2日、本日2月2日と今年度3回開催させていただくことができ、次期大綱と基本計画につきまして、委員の皆さまから様々なご意見、ご提言をいただいたところであります。また、昨年末12月に市民政策コメントを募集し、いろいろなご意見をいただき、本日、そのようなことを反映させていただいた原案をお示しさせていただくことになりました。いよいよ、来年度4月からは、1人1台のタブレット端末を操作するというような取組も始まるわけでありまして、新しい時代を迎えようとしています。この大綱と基本計画を成案にもっていくということで、また本日、委員の皆さまから忌憚のないご意見を賜りたいと思っております。どうぞよろしくお願いを申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

## 3 議題

次期鳥取市の教育等の振興に関する大綱、鳥取市教育振興基本計画（案）について  
○次期大綱・基本計画（案）について

教育総務課長補佐（資料に基づき説明する。）

### 【質疑】

（藤井委員）

策定委員会や市民政策コメントでたくさんの意見が出ており、皆さんが非常に関心をもっておられるなと思っていましたし、これまでの会議で出た意見も付け加えていただいて、読みやすく、方向性もわかりやすくなったのではないかと思います。再度読み返して気になった部分を何点かお聞きしたいと思います。

基本計画の3ページに教育を取り巻く社会情勢というのがありますが、鳥取市は移住定住に力を入れておられますし、実績も出ているので、地方創生の推進のとこ

ろで移住定住に少し触れてはどうかと思います。それから、4ページに社会の安全性とありますが、せっかくコロナ禍につくる計画ですので、犯罪、事故、災害の部分に「感染症」という言葉を入れた方がいいのではないかと思います。

あとは7ページの少人数学級のところで、実際に国で35人学級が来年から年次計画でスタートしていくのですが、本日、閣議決定もされたようですので、35人学級が決まったということを入れていただくのと、そうは言っても、もっと少人数学級を国が進めていくのであれば、注視していきたいということを入れていただくのが良いのではないかと思います。

13ページの現状と課題の最後の部分に「経済の停滞などにより、その状況が急変することも考えられます」と書いてあるのですが、今、コロナの関係で、企業倒産は少ないですが、資金を貸して延命措置が取られています。社会福祉協議会でも生活福祉資金を所得の減った方に貸しています。現在はあまり言われませんが、少し前までは、コロナがリーマンショックと比べてどうかということが言われていたのですが、リーマンショック時の20倍くらいの貸付金が出ていて、鳥取市でも個人の貸付けを5億円くらい行っています。所帯人数にもよりますが、最初、緊急小口資金が10万円、総合資金というのが20万円を3か月、その後さらに3か月伸びて6か月ほど貸付けを行っているので、「コロナの影響による経済の停滞などにより」というように書いても良いのではないかと思います。書き方はまた考えていただきたらと思います。

また、ここ数年、市長をはじめ、皆さまのご理解で、学校の冷房やトイレの洋式化、GIGAスクールなどについて、施策の中に取り入れてやっていただいたり、市独自の学習状況の把握の調査を行ったりしているのですが、今一番気になるのが、不登校の児童生徒の出現率が高くなっているということです。特に小学校で高くなっているということです。中核市になってから、教員の研修も教育センターで行うようになりましたし、福祉との連携もやってきておられるので、教育センターに、もう少し学校現場を支えるような機能を加えてもらって、幅広い取組ができるようになるといいのかなと思っています。

(副教育長)

3ページの移住定住についてですが、検討して入れる方向で考えたいと思います。また、4ページの感染症という言葉を入れるという部分ですが、藤井委員がおっしゃるとおり、子どもたちの安全という観点から見ますと、感染症についても触れるべきではないかと感じましたので、検討させていただきたいと思います。

5ページの35人学級についてですが、本日閣議決定され、小学校のみですが、来年度から5年間で35人学級に移行していくということです。鳥取市としてはさらに少人数学級を目指していきたいという思いもありますので、計画には、現状についての最新のものを載せたいと思います。

また、13ページにつきましても、やはり、コロナウイルス感染症などによる経済の停滞というような事実も記入していくべきであると思いますので、検討させて

いただきたいと思います。

不登校については、おっしゃるとおり、本当に今、全国レベルの課題になっております。教育センターの機能の拡充についてしっかり検討して次に生かして参りたいと思います。

(前田委員)

パブリックコメントの質問にもありましたが、「ひらく」という部分が皆さんにとって少しわかりづらいところがあるのではないか思いましたので、1つ確認させてください。知・徳・体ごとに「ひらく」に異なる漢字が充ててありますが、知にも徳や体の「ひらく」が当然あるわけで、知・徳・体それぞれの中での、特徴的な象徴する漢字がこの漢字だろうということで、この漢字が充ててあり、全体を通して言う時には、平仮名の「ひらく」を使うという考え方で表記されているという理解でよろしいでしょうか。

(教育総務課長)

「市民政策コメントの概要及び意見の概要と本市の考え方」の9番の部分ですが、「ひらく」の表現が使い分けられている部分がありづらいという意見がございました。回答に書いておりますが、「ひらく」には3つの意味があり、それぞれ、閉じていたものが開く、教え導く、切り拓く、という意味で使ったものでございます。位置づけはこのようにしておりますが、すべての意味をバランスよくもつようにしたいというのが今回の考えにございます。この部分の解説をどこかに入れた方がわかりやすいでしょうか。

(前田委員)

漢字1字ずつが充ててあると、その字の意味だけしかなく、ほかの2つの「ひらく」の意味はもっていないというように誤解されやすいのではないかと思います。知識にも啓の啓く、拓の拓くもありますし、それぞれが全部関係しているわけで、その中でも特徴的な漢字が充ててあるという捉えなのだろうと思いますが、読まれる方にとってわかりやすいようで、かえって、その1字だけの意味しかもっていないというような誤解をされてしまうといけませんので、誤解が生まれにくいようにしていただければと思います。

(山脇委員)

私も同じように、「ひらく」がそれぞれ異なる字が充ててある部分の意味がわかりづらいと感じました。今、教育総務課長が言われたことを知らない人は、様々な捉え方をされるので、大綱の2ページの下の辺りに、鳥取市の思いとして書かれると、何となく市の考えが伝わるのではないかと思います。

(教育総務課長)

わかりました。たしかに、わかりにくい部分があると思いますので、山脇委員がおっしゃるように、まず3つの「ひらく」の部分の内容についての説明を入れたいと思います。また、この「ひらく」はすべてを総合して平仮名で「ひらく」という言い方をしており、前田委員がおっしゃるとおり、知だけではなく徳や体に

も相乗的に関わる部分ですので、そのような意味のことも含めて鳥取市としての考えてについて書かせていただき、皆さまにわかりやすいようにしたいと思います。

(前田委員)

注釈をつけていただいているのですが、注釈のあるものについては、本文のところに番号をつけていただくとより分かりやすいと思います。

(教育総務課長)

わかりました。読みやすいように工夫させていただきたいと思います。

(山脇委員)

36ページの給食センターの食物アレルギーの変更部分ですが、「今後、文化的な慣習がある場合などの対応」というのは、宗教の関係で食べ物に制限のある方たちを含むような言葉になっているのでしょうか。

(学校保健給食課長)

そのようなことも今後は検討が必要ではないかということで、検討すべき事項として捉えていこうと思っております。

(山脇委員)

今は外国人の方が就業に来られる数が減っていますが、今後感染が収束すれば、また外国から鳥取にいらっしゃることも増えると思います。5か年の計画ですので、早急にそのことも考えておかなければいけないのではないかと思います。

(藤井委員)

26、27ページに地域学校共同本部と地域創造学校運営協議会という言葉が出てきますが、最終的には地域学校共同本部を各学校につくることが目標ですか。地域創造学校運営協議会とどのように違うのでしょうか。

(学校教育課長)

地域創造学校運営協議会は学校運営を支える委員会で、各小・中・義務教育学校に設置を義務付けて設置されているものです。地域学校共同本部は、学校をボランティア等で支えてくださる地域が中心になって、共同本部等を例えば公民館単位であるとか小学校区単位等で設置し、そこにある学校を支えるボランティアの派遣などを担っていただくようなところになります。基本的に地域創造学校運営協議会と地域学校共同本部は異なるものです。

(藤井委員)

地域創造学校運営協議会というのは各学校に設置されていて、実際に活動していて、それとは別に、今後は地域学校共同本部を全校区に設置したいということのことですか。

(学校教育課長)

はい。地域学校共同本部は、これから、それぞれの校区で設置を目指したいというように考えております。

(藤井委員)

2つの言葉が入り乱れていて混乱しそうだと感じたので、うまく工夫して書いて

いただければと思います。

(学校教育課長)

わかりました。

(藤井委員)

文化財の部分で、28, 29ページに地名や建物名がでてきますが、例えば、「箕浦家武家門」や「五臓圓ビル」と書いてあっても、それを知らない人はどこにあるものかわからないと思います。

今回のような計画を見る際に、いつもその辺りの表記をどのようにするのが良いのだらうと思うのですが、かといって地図をつけるわけにもいきませんので、なかなか難しい部分だと思っています。現在、文化財の計画をつくっておられるようですが、文化財のそういった計画の中では位置の情報はつけているのですか。

(文化財課長)

計画とはまた別なのですが、歴史文化基本構想というものをつくっておきまして、それには文化財等が出てきた場合、地名を併記し、地図もつけております。今回の基本計画に対して表記の仕方をどうするかということは、少し考えさせていただきたいと思います。

(山脇委員)

文化財の部分は、難しい言葉が多いので、難しい言葉にはルビを振っていただきたいです。

(文化財課長)

わかりました。

(藤井委員)

策定委員会の方で5年間の計画の見直しの話が出たようですが、中間年あたりに1度見直しをするのでしょうか。

(教育総務課長)

前回の策定委員会の中で、委員の皆さまから、自分たちが策定する責任上、見直しが必要なのではないかという声がありました。特に、このコロナが長引けば、できると思っていた指標を下方修正しなければいけない可能性もありますし、劇的に状況が良くなれば、また新たな指標が出てくる可能性もあるということで、そのあたりについては何らかの検証が必要であるという話が出ました。

策定委員会の皆さま方も組織を代表していらっしゃる方が中心であり、今度見直しをする際に、その方々に参加していただくことが難しくなる可能性もありますので、そこについてはきちんと結論が出なかったのですが、先程のように、特にこの5年については、様々なことが考えられますので、見直しについて検討すべきだと思っています。

(藤井委員)

そうですね。中間年あたりにしっかり見直しをした方が良いのではないかと思います。

4 その他  
なし

5 閉会

(教育委員会副教育長)

ご協議いただきましてありがとうございました。本日の会議につきましては、速やかに議事録を作成しまして、鳥取市の公式ホームページに掲載したいと思いますのでよろしくをお願いします。

それでは、これをもちまして令和2年度第3回総合教育会議を閉会させていただきます。ありがとうございました。

閉会 14時30分